D. 様式

a. 情報収集に関する様式

1. 職員参集状況報告書(災害対策本部集計用)

職員参集状況報告書(災害対策本部集計用)

										I.	
課	課長 又は 長	所属員数	部	 計	課長補佐	時 係 長	分課員	計	課長補佐	時係長	分課員
危機管理課											
企 画 課											
総 務 課											
税務課			事務局								
債 権 管 理 課											
会 計 室											
議会事務局											
都市計画課											
土 木 課											
営 繕 課			社会基盤部								
上下水道課			江云至盆即								
産業環境課											
(可燃ごみ中継センター)											
健 康 福 祉 課											
保 険 課			住民福祉部								
こども課											
(福 祉 会 館)											
教育総務課											
地域学校教育課			bel = boombattell.								
協働推進課			教育避難 支援部								
住 民 課											
(郷土資料館)											
播磨幼稚園											
蓮 池 幼 稚 園			幼稚園等								
播磨西こども園											
播磨小学校											
蓮 池 小 学 校			小学校								
播磨西小学校			√1, 1, 1X								
播磨南小学校											
播磨中学校			山学坛								
播磨南中学校			中学校								

(参集職	(参集職員報告用)			報告者	
			H	由由	分現在
麗	職名	氏 名	参集日時	参集場所	備为
			ш		
			ш		
			ш		
			п		
			ш		
			ш		
			ш		
			ш		
			ш		
			ш		
			В		
			ш		
			H		
			. Н		
				9	

「備考」欄には、本人・家族の負傷、家屋の損壊等の異常があれば記入すること。 随時更新し、情報連絡班、課内担当及び必要な部署に連絡すること。

3. 概況被害状況チェックリスト(風水害)

概況被害状況チェックリスト(風水害) 急を要する場合は、口頭で報告してください。

記入者氏名:

記入時刻:	年	月	日
午前・午後	眊	Ē	分

項目	内 容	
自宅の状況 (災害発生時 に 自宅にいた場 合)	風による被害 □家屋の振動を感じた □家屋の揺れを感じた □家屋の被害(被害の内容:) 水による被害 □床下浸水 □床上浸水 □その他(被害の内容:)
負傷者の発生	□軽傷者有 □重傷者有 →□病院へ搬送済み(住所、氏名等: □その他())
屋外の状況	□公共構造物の破損・破壊(公共構造物名: (破損・破壊状況: 道路の状況 □側溝から溢水 □冠水 □通行不可 (冠水、通行不可の場所: □街路樹倒壊 □カーブミラーの倒壊 危険物等の状況 □看板等の飛散 □電線切断 □電柱・街灯倒壊 □フェンス等の低 住家の状況 □窓ガラス破損 □屋根・壁に亀裂、剥落 □傾斜 □倒壊 河川・ため池等の状況 □溢水(場所: 浸水状況 □床下浸水(発生場所: □床上浸水(発生場所:))) 」)))
ライフライン の状況	□停電(確認地域: その他()
その他	□火災発生(発生場所(地域): □生埋め発生(発生場所(地域): □橋梁被害(発生場所: □その他)))

※自宅、参集途中で確認できた項目にレ印、必要事項を記入してください。

概況被害状況チェックリスト(地震) 急を要する場合は、口頭で報告してください。

記人者比名:				
	記入時刻:	年	月	日
	午前・午後	時		分

項目	内 容	
自宅等の状況 (災害発生時に 自宅にいた場 合)	自宅 □損傷なし □壁や屋根の損傷 □テレビ、食器棚、タンス等が倒壊 □柱の傾き、家屋の家族 □異常なし □軽傷者有 →□対応済み □その他 □重傷者有 →□病院へ搬送 □その他)倒壊))
住民の状況	□軽傷者有 □重傷者有→□病院へ搬送(住所、氏名: □その他() □屋外へ飛出し混乱している □避難を開始している □救助を求めている→□対応済み □その他()
	□渋滞が発生している (発生場所: □その他 ()
屋外の状況	□公共構造物の破損・破壊(公共構造物名: (破損・破壊状況: 道路の状況 □表面の波打 □液状化 □地割 □街路樹の倒壊 □信号機の不通 (場所: 危険物等の状況 □看板の散乱 □電線の垂下 □電柱・街灯の倒壊 □ブロック塀の倒壊 □自動販売機の倒壊)
	住家の状況 □窓ガラスの破損 □屋根・壁に亀裂、剥落 □傾斜	□倒壊
ライフラインの 状況	□停電(確認地域: □ガス臭(確認地域: □漏水(確認地域:)
その他	□火災発生(発生場所(地域): □生埋め発生(発生場所(地域): □橋梁被害(発生場所: □その他 ()))

※自宅、参集途中で確認できた項目にレ印、必要事項を記入してください。

5. 庁舎緊急報告

庁舎緊急報告

報告日時	年	月	日	時	分
市町村名					
報告者名					

災害名

事務所名 播磨町役場

事務!! 災	発生場所		発生日時	年	月	日	時	分
災害の概況								
		人的被害が出ている			はい	•	いいえ	
		事務所での執務が不可能である			はい	•	いいえ	
	事務所の	電気が停電している			はい	•	いいえ	
Justa	被害状況	水道が断水している			はい	•	いいえ	
被害の状況		電話(NTT)は不通である			はい	•	いいえ	
状況		衛星通信は不通である			はい	•	いいえ	
	近所の 被害状況	人的被害が出ている			はい・	レハレハ	え・不明	
		家屋、壁、広告塔、電柱に被害が		はい・いいえ・不明				
		木造建物倒壊率(推定)		%・ 不明				
		火災が発生している	はい・いいえ・不明					
応急	広接の次						え・不明	
応急対策の状況・				1				
特記事項								

6. 災害報告及び対策処理票

災害報告及び対策処理票

受付番号	第	号		受付者氏名					
受付日時	年	月	日	午前 午後	時	Ć	}		
受信種別		電話・	無線	・口頭・伝言	その他	()	
通告者	住所 氏名			電話			AX	•	
通告内容									
調査報告事項									
	所属				氏名				
調査報告者	所属				氏名				
指示(未・済)	未処理								
	木処理		月	目	時	分	確認者氏	名	

浸水世帯調査表

	氏 名	世帯人数	住 所	浸水状况	巣	備考(住家・非住家の別)
				床下 · 床上	要・不要	
2				床下 · 床上	要・不要	
33				床下 · 床上	要・不要	
4				床下 · 床上	要・不要	
5				床下 · 床上	要・不要	
9				床下 · 床上	要・不要	
7				床下 · 床上	要・不要	
8				床下 · 床上	要・不要	
6				床下 · 床上	要・不要	
10				床下 · 床上	要・不要	
11				床下 · 床上	要・不要	
12				床下 · 床上	要 · 不要	
13				床下 · 床上	要・不要	
14				床下 · 床上	要・不要	
15				床下 ・ 床上	要・不要	
16				床下 ・ 床上	要・不要	
17				床下 ・ 床上	要・不要	

人的被害発生状況

分現在)

业

Ш

皿

隹

備考 応急処置、収容先病院 要治療期間、情報源 原因 (具体的に) 場所 被災狀況 死亡、 重・軽傷の別 職業 性別 年齢 被災者 氏名

家屋被害発生状況

		備考										
		その他										
		床上・下	<u>↓</u>	⊬ •	· ·	14 •	⊬ •	1 <u>-</u>	⊬ •	<u>↓</u>	· -	<u>⊬</u> •
	非住家	全・半焼	· 計	★	★	₩ •	★	÷ →	★	全・	₩ • ¾	
•		全・半壊	÷ ₩	# *	*	* *	*	* *	# *	★	* *	÷ ₩
		床上・下	· •	· ·	⊬ • •	<u>+</u>	<u>+</u>	1 <u>/</u>	· •	· •	· •	· · ·
1 <u>4</u> 4 5 5	任 黎	全·半焼	÷ ∦	# •	÷	# •	÷ *	÷ ÷	# •	∻	# •	₩ ₩
		全·大規模 一部損壞	全・大・半・ 一部	全・大・半・一部	全・大・半・一部	全・大・半・一部	全・大・半・一部	全・大・半・一部	全・大・半・一部	全・大・半・一部	全・大・半・一部	全・大・半・一部
分現在)		世帯人員										
盐		世帯主名										
A H		住所										
(自治会										

火災発生状況

年	A H	盐		分現在			`			2									
火災発	火災発生場所																		
<u> </u>	火災発生日時	平成	争	H	皿	垂	分頃	平成	年	H	ш	盐	分頃	下	年		ш	盐	尔
現場到	現場到着時間		Я	ш		申	公		Я	Ш	##	轴	分		Ą		ш		盐
処置完	処置完了時刻		Я	Ш		垂	分		Я	Ш	##	全	分		A		ш		全
	電話	梅	H					無	H					番号	. 1.				
然 一	無線	+ 無	吾					* **	号					番 号	. 1.				
	その他	FAX						FAX						FAX					
		責任症	責任者氏名) . [111111111111111111111111111111111111111	責任者	責任者氏名				111111111111111111111111111111111111111	責任者氏名	.氏名((111111111111111111111111111111111111111
従事者	本	$\overline{}$) (I)) (<u> </u>) (
)) (<u>\</u>			(\prec) (${}$	2
4	構造																		
	用途																		
1年	建築面積				7	平方メートル	7 7				平方	平方メートル	7				平方〉	平方メートル	$\stackrel{\textstyle >}{\sim}$
	延べ面積				 	平方メー	7.1				平方	平方メートル	7/\				平方メー	1 - 1 - N	=
況焼	焼損面積				並	平方メー	1 1/V				平方	平方メート	1 1/ Y				平方メ	11-1-1	7
	焼損程度	全焼		半焼	部分燒		ぼや	全焼		半焼	部分焼		ぼや	全焼	半焼		部分焼	ぼや	ا ہے
消火活	消火活動状況等																		

潮位測定値報告書

配置	者(/	٨)				報告時刻	時	分	報告者
	配置時刻		時	分		<i>2</i> 0			980 870
8	測定時刻		測定値	報告時刻	<u> </u>		報	告者	
1	時	分	c m	時	分				
2	時	分	c m	時	分				
3	時	分	c m	時	分				
4	時	分	c m	時	分				
5	時	分	c m	時	分				
6	時	分	ст	時	分				
7	時	分	c m	時	分				
8	時	分	c m	時	分				
9	時	分	c m	時	分				
10	時	分	c m	時	分				
11	時	分	c m	時	分				
12	時	分	ст	時	分				
13	時	分	c m	時	分				
14	時	分	c m	時	分				
15	時	分	c m	時	分				
			異常があ	った場合(そ	一の状況	兄)			

防潮ゲート等閉鎖状況報告書

T		T		7					
配置者 (人)						- tar	時	分	
						一些			報
配置時刻	時	分				報告時刻			報告者
閉鎖完了時刻	時	分	(所要時	間	分)		時	分	
開放時刻	時	分					時	分	
*		異常か	iあった ^t	場合(その状況	兄)			

b. 情報伝達に関する様式

1. 広報用文例 (風水害時)

庁舎内放送の文例

	危機管理課より庁舎内の皆さんにお知らせします。
大	本日、午前・午後時分、兵庫県に大雨・洪水警報が 発表されました。 水防指令第 号が発令中です。
雨 ・ 洪 水	兵庫県では、これから1時間にミリからミリの 激しい雨が降り、総雨量はミリに達する見込みです。
	職員の皆さんは、水防配備に備えてください。 職員の皆さんは、業務時間終了後も、各部署で待機してください。
	(繰り返し)
	危機管理課より庁内の皆さまにお知らせします。
4	台風号は、本日、午前・午後時現在にあって、時速kmの速さで に進んでいます。 月日時頃にはに到達するものと予測されています。 この台風の中心気圧はへクトパスカル、中心付近の最大風速は毎秒 mの勢力を持っています。
台風	播磨町には日時頃に最接近する見込みです。 現在播磨町には警報が発表されており、水防指令第号が 発令中です。
	職員の皆さんは、水防配備に備えてください。 職員の皆様は、業務時間終了後も各部署で待機してください。
	(繰り返し) 危機管理課より、職員の皆さんへお知らせします。
本部設置	により、「概員の首さん。
直	職員の皆さんは、水防配備に備えてください。 職員の皆様は、業務時間終了後も各部署で待機してください。

避難指示等の放送例文(洪水)

無怕小寺の	放送例文(洪水)
種別	文例
	緊急放送、緊急放送、警戒レベル3、高齢者等避難発令。 こちら、ぼうさいはりまちょう、播磨町災害対策本部からのお知らせです。 住民の皆様の安全に関わる重要な情報です。
高齢者等避難	ただ今時分に地区に対して警戒レベル3、高齢者等避難を発令しました。からの大雨により川が増水し、時間後には溢れる可能性があります。 お年寄りの方、障がいのある方、小さい子供をお連れの方などは、速やかにあらかじめ定めた避難所(避難所)へ避難してください。
	できるだけ近所の方にも声をかけてください。 冠水している道路はできる限り迂回してください。 また、テレビ・ラジオなど今後の情報に注意してください。
警戒レベル4】	<サイレン> 緊急放送、緊急放送、警戒レベル4、避難指示発令。 こちら、ぼうさいはりまちょう、播磨町災害対策本部からのお知らせです。 住民の皆様の安全に関わる重要な情報です。
緊急安全確保緊急なのである。	マサイレン> 緊急放送、緊急放送、警戒レベル5、命を守る最善の行動をとってください。災害発生、警戒レベル5、命を守る最善の行動をとってください。こちら、ぼうさいはりまちょう、播磨町災害対策本部からのお知らせです。住民の皆様の命に関わる重要な情報です。 ―――――――――――――――――――――――――――――――――――

- ※必ず複数回繰り返して放送すること。
- ※広報車で広報を行うときは、確実に伝えるため、停車して放送すること。

避難指示等の放送例文(高潮)

種別	文例
7里刀リ	2.77.2
	緊急放送、緊急放送、警戒レベル3、高齢者等避難発令。 こちら、ぼうさいはりまちょう、播磨町災害対策本部からのお知らせです。 住民の皆様の安全に関わる重要な情報です。
高船	ただ今時分に地区に対して、警戒レベル3、高齢者等避難を発令しました。 高潮警報が発令されています。(2時間後に高潮警報潮位に達すると予測さ
齢者等避	に関係者が発力されたいます。(2時間後に同例音報例近に建すると子側されます。)
難3	お年寄りの方、障がいのある方、小さい子供をお連れの方などは、速やかに(避難所)へ避難してください。
	できるだけ近所の方にも声をかけてください。
	冠水している道路はできる限り迂回してください。
	また、テレビ・ラジオなど今後の情報に注意してください。
	<サイレン>
	住民の皆様の安全に関わる重要な情報です。
と と と と と と と と と と と と と と と と と と と	時分に地区に対して、警戒レベル4、避難指示を発令しました。 高潮による被害の可能性があるため、速やかに全員避難を開始してくださ
示ル 4	V)
4	緊急車両の通行を確保するため、避難は車を使用しないでください。
	外が危険な時は、自宅の2階か、近くの安全な高い建物に避難してください。
	<サイレン>
	緊急放送、緊急放送、警戒レベル5、命を守る最善の行動をとってくださ
_	い。災害発生、警戒レベル5、命を守る最善の行動をとってください。 こちら、ぼうさいはりまちょう、播磨町災害対策本部からのお知らせです。
緊急安全確定	住民の皆様の命に関わる重要な情報です。
女レ 全ベ	時分に地区に対して警戒レベル5、緊急安全確保を発令しま
確ル 保5	した。
ļ ,,,	地区で堤防から水があふれ出しました。現在、浸水によりは通れ ません。
	ません。 地区を避難中の方は、大至急近くの安全な高い建物など、安全な場所
	に避難してください。
/6/ // 15十年 水(·回帰り返して女学すること

- ※必ず複数回繰り返して放送すること。
- ※広報車で広報を行うときは、確実に伝えるため、停車して放送すること。

庁舎内放送(地震)

危機管理課より職員の皆さんへ連絡します。 ただいま大きな地震がありました。 ・本部員の方は、至急 へ集合してください。 ・職員の皆さんは、非常配備体制に備えてください。 ・近くのガスの元栓など火の元を点検してください。 ・来庁されている方を安全なところへ案内・誘導してください。 ・周りにケガをした人がいたら、応急手当をしてください。 ・倒れかかったロッカーや飛び散ったガラスなどは危険ですから片付けてくださ V) ・電話の受話器が外れていたらすぐに元に戻してください。 ・不要・不急の電話やエレベーターは使用しないでください。 生直 危機管理課より、職員の皆さんへ連絡します。 先ほどの地震により、 時 分、災害対策本部が に設置されました。 各課は被害状況を取りまとめ、至急災害対策本部事務局へ報告してください。 今後、余震があるかもしれませんが、テレビ・ラジオのニュースや庁舎内放送に 十分注意し、上司の指示に従って落ち着いて行動してください。 (津波警報等が発令され、ゲート閉鎖が指示された場合) ただいまの地震により津波警報が発令されました。の職員の方 はゲートの閉鎖に当たってください。その際、海岸部周辺に人がいる場合は海岸 線から離れるよう、避難誘導を行ってください。 (繰り返し) 播磨町災害対策本部(危機管理課)より、職員の皆さん、来庁者の皆さんへお知 らせします。 気象庁の発表によりますと、先ほどの地震の 震源地は で、震源の深さは約 kmと推定されます。 近隣地域の震度は、播磨町で震度

(津波情報がある場合)

情

播磨町沿岸への津波到達予想時刻は____分後です。現在ゲートの閉鎖作業を行っております(津波の心配はありません)。

以上、播磨町災害対策本部(危機管理課)から地震情報をお知らせしました。

地震の規模を示すマグニチュードはでした。

広報用放送例文(地震)

こちら、ぼうさいはりまちょう、播磨町災害対策本部からのお知らせです。

ただ今、大きな地震がありました。

あわてて、外に飛び出すのは危険です。落ち着いて行動してください。

まず、ガラスの破片などでケガをしないよう、スリッパや靴を履いてください。ガスの元栓を閉めてください。

電気器具のスイッチを切ってください。

プロパンガスはガスボンベが倒れたり、ガス管が壊れている場合があります。 ボンベの元栓も締めてください。

ガス漏れの恐れがあります。たばこには火をつけないでください。マッチ、ライター、ろうそくは使わないで下さい。

電気のブレーカーも切ってください。漏電による火災の恐れがあります。

ラジオ、テレビをつけて、今後の放送に十分注意してください。

こちら、ぼうさいはりまちょう、播磨町災害対策本部からのお知らせです。

先ほどの地震は、震度____、震源地___と発表されました。 揺れは次第におさまってきています。落ち着いて行動してください。 あわてて、外に飛び出すのは危険です。落ち着いて行動してください。

ガラスの破片などでケガをしないよう、スリッパや靴をはいて下さい。

建物のまわりは、ガラスや看板、壁が落ちてくる危険があります。

壊れた建物のそばや狭い路地を通るときは、屋根瓦に注意して、ブロック塀から 離れてなるべく道のまん中を歩いて下さい。

たれさがった電線には絶対にふれないで下さい。

おちついてまわりを見て下さい。

電話はかかりにくくなっています。

緊急の電話をかけやすくするために、しばらく電話は使わないで下さい。

近所にお年寄りだけの家や大人が留守で子供さんだけの家はありませんか。 身の回りが落ち着いたら、声をかけてあげて下さい。

出所のわからない情報には一切耳をかさない、人に伝えないようにしてください。

ラジオ、テレビをつけて、今後の放送に十分注意してください。

※広報車で広報を行うときは、確実に伝えるため、停車して放送すること。

発生から数時間以内

生直

避難指示等の放送例文(津波)

	- V///X	(送例文(津波) 文例
種別		文例
	津波注意報	〈サイレン〉 緊急放送、緊急放送、避難指示発令。 こちら、ぼうさいはりまちょう、播磨町災害対策本部からのお知らせです。 住民の皆様の安全に関わる重要な情報です。 兵庫県瀬戸内海沿岸に津波注意報が発表されました。 徒歩での避難を指示します。 時間のある限り、喜瀬川より西の方は大中遺跡公園、喜瀬川より東の方は野添北公園を目指してください。歩いて避難してください。
避難指示	時間的余裕有	〈サイレン〉 緊急放送、緊急放送、避難指示発令。 こちら、ぼうさいはりまちょう、播磨町災害対策本部からのお知らせです。 住民の皆様の命に関わる重要な情報です。 兵庫県瀬戸内海沿岸に津波警報(大津波警報)が発表されました。 新幹線より南側の方は大変危険です。 徒歩での避難を指示します。 喜瀬川より西の方は大中遺跡公園、喜瀬川より東の方は野添北公園を目指して、今すぐ避難してください。
	時間的余裕無	<サイレン>大津波警報、大津波警報大至急、大中遺跡公園か野添北公園を目指して、避難せよ。○○で津波が発生(○○で津波を観測、○○で津波は既に到達)。直ちに避難せよ。
注意報発令の伝令	こ兵海海ま	サイレン> ちら、ぼうさいはりまちょう、播磨町災害対策本部からのお知らせです。 庫県瀬戸内海沿岸に津波注意報が発表されました。 「岸や河川沿いから離れてください。 「や河川付近で作業している方は作業を中止し、海岸から離れてくだささい。 「た、テレビ・ラジオなど今後の情報に注意してください。

※必ず複数回繰り返して放送すること。

3. 広報用文例 (大規模火災)

広報用放送例文(大規模火災)

	こちら、ぼうさいはりまちょう、播磨町災害対策本部からのお知らせです。 ただ今、地区で大規模な火災が発生しました。
発生	あわてて、外に飛び出すのは危険です。落ち着いて行動してください。
発生直後	まず、ガスの元栓を閉めてください。 電気器具のスイッチを切ってください。
	ラジオ、テレビをつけて、今後の放送に十分注意してください。
発生	こちら、ぼうさいはりまちょう、播磨町災害対策本部からのお知らせです。 先ほど地区で発生した大規模な火災は次第におさまってきています。
カゝ	落ち着いて行動してください。
2ら数時間以	電話はかかりにくくなっています。緊急の電話をかけやすくするために、しばらく 電話は使わないようにしてください。
内	出所のわからない情報には一切耳をかさない、人に伝えないようにしてください。 ラジオ、テレビをつけて、今後の放送に十分注意してください。
	こちら、ぼうさいはりまちょう、播磨町災害対策本部からのお知らせです。
	ただ今のにより、地区で火災が発生し、方向へ燃え広がる危険があります。
避	地区の皆さんは、公園、小学校へ避難してください。
避難誘導	避難する際は、荷物は最小限にしてください。 情報を得るため、ラジオを携行してください。
	緊急車両の通行を確保するため、避難は車を使用しないでください。 車を道路に乗り捨てないでください。
	避難する際は火災現場の近くなど危険な場所は通らず、誘導する町職員、警察官等 の指示に従ってください。
	こちら、ぼうさいはりまちょう、播磨町災害対策本部からのお知らせです。
被害	ただ今のにより、火災が発生し、延焼中です。
被害状況	現在、のため、電気、水道、電話が各所で分断されています。
	地区の皆さんは、冷静に今後のラジオ、テレビや防災行政無線の放送を聞いてください。

4. 職員参集用電話連絡文例

電話連絡文例

	に入り
	こちらは播磨町災害対策本部です。
	先ほど発生したにより、災害対策本部が設置されています。 至急、に参集してください。
召集	(即時参集可能な場合) 活動に必要な、着替え、防寒着、水と食料、懐中電灯、ラジオ、携帯電話と充電器などを持って、作業できる格好で参集してください。 参集する際、自家用車は使用しないでください。
集	参集途中は、被害状況を確認してください。 到着次第、統括又はリーダーに参集の報告と被害状況を報告してください。
	途中で、道路の断絶などがあり、役場まで参集できない場合は、その旨統括又は リーダーに報告し、指示に従ってください。
	(即時参集不能な場合)
	(即時多集不能な場合) 参集できない理由を教えてください。
	今 後 参 集 可 能 な 状態 に な り ま し た ら 、 速 や か に 参 集 し て く だ さ い 。
	こちらは播磨町(災害警戒本部)です。
待	現在、により警戒態勢となっています。
機指	即時参集の必要はありませんが、自宅待機してください。
示	また、これを課内連絡網で次の方に伝達してください。
	次の方が留守の場合は、飛ばして次の方に伝達してください。
	こちらは播磨町(災害警戒本部)です。
待機解	時分、自宅待機を解除します。
除	また、これを課内連絡網で次の方に伝達してください。
	次の方が留守の場合は、飛ばして次の方に伝達してください。

5. 火災・災害等即報要領様式

第1号様式 (火災)

第 報 報告日時 年 月 日 時 分 都道府県 市町村 (消防本級名) 報告者名

※ 特定の事故を除く。

消防庁受信者氏名

=																			
火	Æ	種	別	1	建物	2	林野	3	車両	4	身	合舶	5	Á	抗空機	6	その他		
出	火	場	所																
出	火	日	時			月	日	時	分		(∌	其圧	日月	寺)	(月	日	時	分)
()	覚知	日時	F)	(月	日	時	分)		鎮	火	Ħ	時		月	日	時	分
火:	元の	業態	•								事	業	所	名					
用			途								(代	表表	作氏	名)					
出	火	箇	所								出	火	原	因					
				死	者(竹	生別・	年齡))	l.	夢之	をの	生じ	· *-					
死	1	鷌	者	台	作老	重症					理	42		由					
				,	1997-111	中等				λ.	-1			1					
						軽症				λ.									
				構	浩	TE/M					建金	真面	Filt						m²
建	物(り概	要	階								べ面							m²
				FD	全	焼	楝	1			~	last.	I,M		建物烷	:45 d:	THE SALE		
				焼損	*	焼	楝								建物烷				mî mî
焼	損	程	度	棟数	部分	塘	楝	> ⊞		棟	焼	損	面	積			面積		ha
				21-354	Œ		楝	1							4下9月)近1貝	加州		па
ŋ	災士	世帯	数				-		t	世帯	気	象	状	況					
				消防ス	本部	(署)					_	台				人			
消日	防活	動状	況	消防	団							台				人			
				その作	也(消	防防	災ヘリ	コプゟ	7一等	()		台•	機			人			
救	急	· 救	助																
活	動	状	況																
		策本																	
		置状																	
+0	の他	参考	护坝																
13	‡)	200	1 30	15-01	\TN	- 2012	康性を	思雄壮	: 1- 1	er de	≠> 10	a h i	97	7 19	FBI L 1		賞知後:	יובאמי	rta) 🛆

⁽注) 第1報については、迅速性を最優先とし可能な限り早く(原則として、覚知後30分以内)分かる範囲で記載して報告すること。(確認がとれていない事項については、確認がとれていない旨(「未確認」等)を記入して報告すれば足りること。)

第2号様式 (特定の事故)

事故名 1 石油コンビナート等特別防災区域内の事故 2 危険物等に係る事故 3 原子力施設等に係る事故 4 その他特定の事故

			弗		罪
報告日時	年	月	日	時	分
都道府県					
市町村 (消防本部名)					
報告者名					

		_	消	防庁受信	者氏名					, [報告	者名						
事	故	種	別	1 火	災 2	爆発	3	漏え	(A)	4	その	他()					
発	生	場	所															
事	業	所	名							特	別防	災区域	(アウトst 重、その		、第一	種、
										発	見	日 時			月	日	時	分
発	生	日	時		月	日	時	分			鎮火	口胜			月	H	時	分
(覚 知	日時)	(月	Ħ	時	分)			処理			(月	日	時	分)
消	防覚	知力	法							気	象							
物	質(の区	分	1 危険物 5 毒劇物	2 指定 6 RI等	可燃物		傷圧ガス その他(可	燃性ガ)	フ	物	質	名			
施	設(の区	分	1 危険	物施設	2	高危	昆在施	設	3	高圧	ガス旅	設	4	その	也()
施	設(の概	要							危 区) 換物力	施設の 分	1					
事	故(の概	要															
				死者	(性別·	年齢)		人				負傷者					(人)
死	1	鷌	者											症 等症			(人)
												140	軽	症	LIM C P	人	(人)
										出	場白衛	機 防災組	関織	11	場人員	人	出場)	資機材
消	防	防	92							-91		防災組				人		
活	動	状	況							所	そ	の	他			人		
及			び							消	防本	部(署	器)			台人		
救	急	• 救	助							消		防	₫			台人機		
活	動	状	况							審助	防災へ	・リコブ				機人		
										海		保 安	庁			人		
				警戒区域		月	日	時	分			衛	隊			人		
939	生品	策本	- ग्रंबर	使用停止	命令	月	Ħ	時	分	そ		の	他			人		
火等	百別の設	東 本	即況															
そ(の他き	考事	項															

(注) 第1報については、迅速性を最優先とし可能な限り早く(原則として、覚知後30分以内)分かる範囲で記載して報告すること。(確認がとれていない事項については、確認がとれていない旨 (「未確認」等)を記入して報告すれば足りること。)

第3号様式 (救急・救助事故・武力攻撃災害等)

			市町村 (消防本部名)		
2010	防庁受信者氏名		報告者名		
			_	<u> </u>	
事故災害種別		救助事故 3	武力攻撃災害	4 緊急対処事	態における災害
発 生 場 所					
発生日時		日時	分、覚知方	法	
(覚知日時)	(月	日 時	分) 光加力		
事故等の概要					
7 9 7 5 10 20					
	死者 (性別・年齢)		負傷者等	ř	人(人)
死 傷 者			lΓ	重 症	人(人)
		#	시	中等症	人(人)
	不明		人	軽 症	人(人)
			'		
No. of the control					
救助活動の要否					
要救護者数(見込)			救助人	員	
消防・救急・救助					
活動状況					
10 900 4/ 00					
災害対策本部					
等の設置状況					
その他参考事項	į				

報告日時

都道府県

第

日

月

報

分

- (注) 負傷者欄の()書きは、救急隊による搬送人員を内書きで記入すること。
- (注) 第1報については、迅速性を最優先とし可能な限り早く(原則として、覚知後30分以内) 分かる範囲で記載して報告すること。(確認がとれていない事項については、確認がとれていない旨(「未確認」等)を記入して報告すれば足りること。)

第4号様式 (その1)

	(災害機	既況即報)						報告日時		年	月 日	時	分
								都道府県					
	消	防庁受信	者氏名				(市町村 消防本部名)					
552	害名			(第	報)	•	報告者名					
	発生場所						発生	上日時	月		Ħ	時	分
災害の概況													
		死 者	人	重傷	,	L.		全壊	<u> </u>	棟	床上浸水	 	楝
被害	人的 被害				-	\dashv	住家 被害	半壊		棟	床下浸水		楝
あ状		不 明	人	軽傷	-	٨		一部破技	1	棟	未分類		棟
況	119番通報	の件数	•		· · ·				1			•	
	災害対策	本部等の	(都道府)	具)			(市	町村)					\neg
	設置	状 況	/16 - 3695-1	de 300		-PE-701		C to Jakob	on one had never	0.00 to 10		PI- L Am Set	
応急対策の	消防機活動		(地元消防4 で、その出意	師、消服	场团、消队 活動状况等	断炎わ	ヘリコン かる範囲	アター、消防 計で記入する	組織法第3	9条に基	づく応機消	防本部等	CON
状況	自衛隊	家派 遣 り状 況											
	その他都は	道府県又は	市町村が	講じた	応急対	策							

 ⁽注) 第1報については、迅速性を最優先とし可能な限り早く(原則として、覚知後30分以内) 分かる範囲で記載して報告すること。(確認がとれていない事項については、確認がとれていない旨(「未確認」等)を記入して報告すれば足りること。)
 (注) 住家被害のうち、その程度が未確定のものについては、「未分類」の欄に計上すること。

発令日時 解除日時 遊雞準備·高齢者等遊雞開始 対象世帯数(※) 対象人数(※) 都道府県名 発令日時 解除日時 対象世帯数(※) 対象人数(※) ※ 対象世帯数等を確認中の場合は、空欄にせず「確認中」と記載すること。 発令日時 解除日時 遊離指示 (緊急) 対象世帯数(※) 対象人数(※) 第4号様式(その1) 別紙 (避難勧告等の発令状況) 市町村名

第4号様式 (その2) (被害状況即報)

										ŀ							
都道府	所県				M			\$	被害		M	*	英	争		神	
	83	災害名					流失·埋没	ha		7	公立文教施	設 千円			## ##	回位	
災害	绐					Ħ	冠 木	ha		THEO	農林水産業施	設千円					
•	無	jan.		報		_	流失·埋没	ha		4	公共土木施	設 千円			害 6		
報告番	中				₩	Ę	冠 木	ha		N	その他の公共施	設千円			松		
		\cup	Щ	日時現在)		×	教 施 設			7	4	計千円			紙頭		
如仕来	* 4					病	盗	院爾		7	公共施設被害市町村	数 団体			*		
Π.	ţ.					洄	26	路商			子 農 業 被	害 千円					
M			₹	被		権	F 7 6	適便			林 業 被	害 千円			部院		
~			者			河	II.	画座			畜 産 被	害 千円					
人名	夬	不明	者人			栽	观	湾所			水 産 被	害 千円			**	-	
被争	田		第		_			店店			商 L 被	岩 千円			田屋		
6年	幸	チ	上		(非	都 衛	設置所							救市町	ŧħπ	団体
			椎			鉪	< # h	礼庫所							世 本名		
4₩			車 業		_	鉄	道不通	通			あそ の	他千円			· 出		
##			\prec			被	岩 船 船	船隻		楼	被害総	額 千円			119番	119番通報件数	件
			棟			¥	型	旦 狸			3%						
壯			極			钽	柳正	話無			₩ 6						
Ð			\prec			缸	ήκ	冥耳			の薬						
k			椎			H	,	K			岩						
1	恕	铁	損			プロ	ック塀等	御原			無	() 医超起原)用	リコプター、消防者	10条68無地攤回	基ろの複数	地元確存本部、維約団、提称財災~ブコブケー、維防撤棄治薬の米に基づく3.要挙許本部等について、その出職限職、抗働状政等を配入するにに、	(729
#			~		和						花葉						
ğ			華								柳玉						
枨	4	哤	大 ##								なっぱ						
-			\prec								中華						
Ha Ha			華		6	Ж †	世 帯 数	数非非									
枨	<u>/</u>	哤	大		G G	**	者数	数人			の 説						
			\prec		_	母	*	物件			状 自衛隊の災害派遣				*	その街	
非 公	#	傲	物棟		災発	危	険 物	物件			完						
家子	9	0	他棟			*	Ø (#	他作									
				-													

※1 被害額は省略することができるものとする。※2 119番通報の件数は、10件単位で、例えば約10件、30件、50件(50件を超える場合は多数)と記入

			依	頼書										
発信NO	日日	時		発信者										
	月	日日	诗 分											
発信先				所属										
所属				氏名										
氏名				TEL	_									
発信方法				FAX	_									
TEL														
FAX														
<u>口頭</u>														
伝 言														
依頼事項				L.										
1242 F 2														
	回答・報告書													
報告日時	月 日	時	<u>分</u>											
報告者		•	_	─										
ТАПП			_	-										

通信・連絡記録票	【部署	1
	【記録者氏名	1

		【記録者氏名	
日時	通信相手 ○○から・○○へ	通信・連絡事項	

通信•連絡状況

【部署 【記録者氏名

				【記録者氏名	<u> </u>
		受信内容		発信内容	
日時	相手		相手		
	111 1		11-1		
			l		

c. 応援要請・受入に関する様式

1. 自衛隊災害派遣要請書

(派遣要請)		第 年	 月	号 日
兵庫県知事 様	播	磨	町	長
印	1144	ν п	,	
自衛隊災害派遣について(要請)				
標記のことについて下記のとおり要請いたします。				
記				
1. 災害の状況及び派遣を要請する理由				
 2. 派遣を希望する期間 年 月 日 時から 年 月 日 時まで 3. 派遣を希望する区域及び活動内容 (1) 区 域 (2) 活動内容 4. 要請責任者の職氏名 播 磨 町 長 5. 災害派遣時における特殊携行装備又は作業種類 (1) 特殊携行装備 (2) 作業種類 				
6. 派遣地への最適経路				
7. 連絡場所及び現場責任者の職氏名並びに標識又は誘導地点 (1) 連絡場所 (2) 現場責任者 (3) その他	とその	標示		

2. 自衛隊撤収要請書

(樹心亜津)							 第		 号
(撤収要請)							年	月	万日
兵庫県知事 様									
					播	磨	町	長	印
	自衛隊の撤	対収につ	いて(要	請)					
年 月 は、迅速適切な活動 撤収を要請いたしる									
		記							
1. 派 遣 地									
2. 撤収希望日時									
年 月	日 時	分							
3. 派遣部隊人員等									
人員 約	名								
4. その他必要な事項									

3. 兵庫県消防防災へリコプター緊急運航要請書 (令和5年4月7日~)

(様式第1号)

兵庫県消防防災ヘリコプター緊急運航要請書

年 月 日

兵庫県防災監 様

申 請 者 (要請機関の長)

要請機関名	扌	担当者名		電話番号	
発 生 日 時	月 日 時 分頃 第	党知時刻	時 分	要請時刻	時 分
要請区分	1 救 急 2 救 助	3 火災隊	方御 4 情報収集	5 災害	応急*1 6 その他
発生場 所	住 所:				MAP:
臨時着陸場	名 称:	(臨時	離着陸場番号)※2:		MAP:
気 象 条 件	天候:		視程**3:		
無線呼出名称	臨時離着陸場		活動隊		現地指揮本部
無脉吁山石物					
災害概要					
傷 病 者	氏 名		年 齢	歳性	別男・女
症 状					
同 乗 者	医 師		同 乗 者		
搬送元病院			電話番号		
搬送先病院			電話番号		
搬送先臨時離着陸場			搬 送 先 無線呼出名称		
積 載 資 機 材			電源の要否	要•否	

送 付 先 兵庫県消防防災航空隊

TEL: (078)303-1192 FAX: (078)302-8119

(兵庫県災害対策本部等設置時) TEL: (078)362-9900 兵庫県災害対策本部事務局 FAX: (078)362-9911

※1 災害応急とは、災害時の状況把握、緊急物資・医薬品等の輸送及び対策要員・医師等の搬送並びに住民への避難誘導・警報の伝達です。

※2 臨時離着陸場番号とは、「ヘリコプター臨時離着陸場適地一覧」に記載されている番号です。

※3 視程とは、何km先の目標物まで判別できるかという値です。

緊急運航活動報告書

兵庫県消防	防災航	空际	隊長 梯	É						業	務指	揮者	ž.						印	
事案番号:																				
業務区分		罗	標請区分		ŧ	幾体		出動番·	号		33	害》	区分					活動	区分	}
災害発生	 	年	 月	H	()						亜翁	一	≱ 4n			年	1	 月	日	
発生場所			7,									前通						-		
要請機関												要	請			年		—— 月	月	
災害概要											⁄Τ·		F14	<u> </u>						
	1																			
出動年月日	鱼	F 月] 月()	 灵	 象:		風向:		風速	:		m/s	警	報・	注意	報:			
出動隊員	操縦:	:			整備															
時間経過	出重	d	現場到着	機	内収容	搬送開	射始	引継ぎ	· *	冬了引援	}	帰	隊	要請出	~ 動			出重	助〜 見着	
飛行時間	火	災	救り		救	急	そ	の他	活動	時間	T	火	災	老	女 耳	h	救	急		その他
活動概要			П		1			1			1					<u> </u>				
	水消					教_	出	救 助	l				救	急	搬				_	情報収集
時間		回		Q	時間			□		人	時	間				回		人	٠	
使用資器材																				
着陸場所																<u> </u>				
特定行為				<u>~!</u>	リTVョ	上 と施												-		
備考																				

				傷	易 堳	岗 者	愴	新	1	_	_	_		_	_	
日 付											出動和	番号				
氏 名				性	生別		白	三齢			生年月					
住 所				ı				l			連絡	先				
主 訴				傷病	名				疾病				程	足度		
既 往 歴				現病	歴				通	完医 関	療機					
搬送元病 院									担	当臣	ミ師					
搬送先病 院									担	当医	ミ師					
時間経過	現 着搬送開			搬送	時間			j	**ぎ場 所 ***ぎ隊							
				航	空	隊 処	置	内多								
				/1/ [ш.	11 /	н		I					
	•			Ŋ	汝 命	〕 処 置	Þ	內 容			•					
	_				番		ù				1					
	J(CS	GC			血 圧			吸			脈			体	
			E V	M 電					<i>l</i> 分			/分	Ì		1	$^{\circ}$ C
SPO2 酸素		状		电 図		瞳孔			顏多	貌	皮膚	麻	痺	痙 绰	ř.	嘔 吐
%	L	<u> </u>			左	mm A	ī	mm		-1-1						
四肢変	: 形		出血			創傷				熱	傷			その)他	1
					故	 乗 者 性	主 共	ū								
区 分		所月				名 名	月干		搭 乗	場	所		ßź	機 場	₽ F	沂
		121 /	120			~ы			10 //	-///3	721		I	P 1/94 %	20).	/1
特記事項							•					•				

4. ボランティア登録台帳

ボランティア登録台帳

登録年月日	年	月	日	登	録番号						
ふりがな				生	年月日		年	月	日	(歳)
氏 名				性	別			男	•	女	
住 所	〒										
自宅電話番号				F	AX						
携帯番号				Е	メール	,					
自宅以外の連絡先											
移動方法		徒	歩 ・	自申	云車	• 1	バイク	•	自重	助車	
できるボランティア の種類	避難所対援物が	資運搬	t、配布	î							
所持する免許				4E Z	z., -	1.					
資格等				待息	なこ。						
	曜日	月	火	水	木	金	土	日		そ	の他
活動できる時間○を	午前										
つける	午後 夜間										
 活動できる範囲	仪间	<u> </u>	 地域内		町内	<u> </u>	<u>ا</u> نخ	こで	<u>」</u> も可	能	
備考											

ボランティア登録ー覧表

						なら タド・・・・・		
登録番号	登録年月日	出	名	性別	年齢	連絡先(携帯・TEL等)	活動できる範囲	住 所
				男・女			地域内・町内・どこでも可能	市・町
				男・女			地域内・町内・どこでも可能	市・町
				男・女			地域内・町内・どこでも可能	市・町
				男・女			地域内・町内・どこでも可能	市・町
				男・女			地域内・町内・どこでも可能	市・町
				男・女			地域内・町内・どこでも可能	市・町
				男・女			地域内・町内・どこでも可能	市・市
				男・女			地域内・町内・どこでも可能	市・市
				男・女			地域内・町内・どこでも可能	市・町
				男・女			地域内・町内・どこでも可能	市・町
				男・女			地域内・町内・どこでも可能	市・町
				男・女			地域内・町内・どこでも可能	市・町
				男・女			地域内・町内・どこでも可能	市・町
				男・女			地域内・町内・どこでも可能	市・町
				男·女			地域内・町内・どこでも可能	市・町
				男・女			地域内・町内・どこでも可能	市・町
				男・女			地域内・町内・どこでも可能	市・町

6. 衛星携帯電話の貸与要請の伝達事項

災害対策用移動通信機器利用の要請(速報)

【送信先】

総務省 近畿総合通信局 防災対策推進室 電 話 06 (6942) 8504 FAX 06 (6942) 1849

1. 要請元			
機関名			
担当者所属			
担当者氏名			
電話			
FAX			
電子メール			
2. 要請内容			
衛星携帯電話(据置)			台
衛星携帯電話(ハンディ)		台
MCA 端末(ハンディ)			台
MCA 端末(ポータブル)			台
簡易無線機(ハンディ)			台
使用する場所 (予定)			
3. 要請の理由			
(被災した通信機器の状	況、要請	する機種と台数の理由など)	
4. 到着希望時間・引渡	 :場所		
(「○○時頃」、「至急」			
※FAX使用が困難の場合	合け 雷託	5等にて要請内容等を伝達ください。	

7. 衛星携帯電話の借受申請書

借受申請書

当地における災害により一時的に増大する通信需要に対応し、重要な通信の円滑な実施を確保するために必要な体制を整備するため、総務省所管に属する物品の無償貸付譲与に関する省令(以下、「令」という。)第三条第八号に基づく通信機器(又はそれに準じた取扱いを要する通信機器)の無償貸付を受けたいので申請します。

令第六条に規定の事項は、別記1~5のとおりです。

総務省総合通信基盤局 電波部基幹通信課 重要無線室長 殿

(通信機器の貸出を受ける団体において通信機器の 運用に権限を有する者)

年 月 日

印※

※ 私印で可。公印の必要はありません。なお、自筆の場合は押印は不要です。

貸付承認通知書

年 月 日付申請を承認する。 令第七条の規程に基づき、別記2~6及び8のとおり通知する。

殿

年 月 日 総務省総合通信基盤局電波部基幹通信課重要無線室長 印

借受書

年 月 日付貸付承認に係る通信機器の引渡し及び使用方法の説明を受けました。

通信機器使用に際しては、別記8貸付条件に従います。 令第八条に規定の事項は、別記2、4及び5のとおりです。

総務省総合通信基盤局 電波部基幹通信課 重要無線室長 殿

> (通信機器の貸出を受ける団体において通信機器の 運用に権限を有する者)

> > 年 月 日

印※

※ 私印で可。公印の必要はありません。なお、自筆の場合は押印は不要です。

- 1 借受申請書提出時に、二重枠線内の1~5について記入してください。
- 2 借受書提出時に、「8 貸付条件」の9項目について確認の上、左欄に同意を示すチェックを入れてください。

				氏名	名又は名	含称					
1	申	請	者		住所						
				МС	A						台
				簡易	胡無線						台
2	申	請台	数	衛星		話					———— 台
				その)他						/>
				()				台
3	使	用場	所	(使)	用場所が	指定で	きるときのみ記入り	してくだ	さい。)		
4	弓	渡場所及	とび								
4	返	納場	所								
_	14	: /土 廿0 88	<u>~</u>	借	受	日		年	月	日	
5	貝	付期間	寺	貸	付 期	間	原則	、貸付	から6ヶ	月以内	
6	使	用目	的	災	害時に	おけ	る重要な通信の	円滑な	実施を確保	呆するため	か 。
7	必	要な理	由	災	害によ	IJ—	時的に増大する	通信需要	要に対応す	するため。	
8	貸	付 条	件								
	1	通信機器の選	軍用に	当たっ	ては、電	波法及	びこれに基づく命令	うに定め.	るところに征	従い、監督 に	服すこと。
	2	通信機器引源	度し時	に交付	の「無線	局運用	証明書」を、通信機	器を実際	とに操作する	者に携行さ	ぎせること。
	3	通信機器は、	善良	な管理	者の注意	をもっ	って管理し、その効	率的使用	に努めるこ	٤.	
	4	通信機器は、	転貸	し、又	は担保に	供した	ないこと。				
	5	通信機器は、	貸付	の目的	以外の使	用及で	び改造をしないこと	0			
	6						た場合は、指定され			をしないこ	と。
	7						旨定された場所に返				
	8						その旨及び理由につい				
					事故原因	が災害	『又は盗難に係る場合	合は、関係	係官公署の	発行する証	明書を報告
		書に添付する		-	₩+	. 	ᄝᄹᆉᄔᅺᄺᄾᅟᇹ	၈ૄ==±	ム尚といっ	坦人ぶよう	
	0						員傷させた場合、そ				
	9	里安無線至りに関して必要					植時に調査し、若し	、は報古	で水砂、又	は雁持、官:	圧及ひ返却
							こ違反したとき又は	重要無線	室長が特に	必要と認め	たときは
満		でい、四日が	∞ нп ≀о	、 н Х	八// 吳门	, √ , T	- たべ しにここへは	ᆂᆇᇭᆙ	三天76 可10	える メ このじびん	, C C C 16 (
71443		了日前に返去	『を指	示する	場合があ	る。こ	の場合は、重要無線	室長の指	『示に従い速	として として とり	叩すること 。
備			考								

8. 災害対策用移動電源車の借受申請書

様式1-1

借受申請書

災害の発生に伴う電源供給の途絶により、通信の確保が困難な状況となったため、応急的に電源を確保する必要が生じたことから、災害対策用移動電源車の貸与を別記のとおり申請いたします。

総務省

近畿総合通信局長 殿

(移動電源車の貸与を受ける団体におい

τ

運用の権限を有する者) 年 月 日

ШX

※ 私印で可。自筆による署名の場合は押印不要。

様式1-2

貸付承認通知書

年 月 日付けの借受申請を別記のとおり承認する。

殿

年 月 日

総務省

近畿総合通信局長 印

様式1-3

借受書

年 月 日付けで貸与を承認された移動電源車の引渡し及び運用方法の説明を受けました。移動電源車の運用と取扱については、別記に記載された事項及び災害対策用移動電源車の貸与仕様書に従います。

総務省

近畿総合通信局長 殿

(移動電源車の貸与を受ける団体におい

て

運用に権限を有する者) 年 月 日

En ×

※ 私印で可。自筆による署名の場合は押印不要。

借受申請書提出時に、以下について記入してください。

1	申 請 者 (法人の場合、そ	氏名又は 名称						
'	の名称及び代表者 名)	住 所						
2	申請台数	小型移動電源	『車(5.5kVA)		台			
	中胡口奴	中型移動電源	「車(100kVA)		台			
3	使用目的及び 必要とする理由		ける通信の確保等の用として 原車が必要となるため。	、応急的に電源	原供給で			
4	使 用 場 所	※ 使用場所が指定できるときのみ記入ください。						
5	借 受 期 間	年月日か	ら 年 月 日 まで					
6	引渡場所							
7	備考							

<注意事項>

- ① 民間事業者が移動電源車の貸与を受ける場合は、有償貸与となる。
- ② 中型移動電源車の貸与を受ける者は、電気事業法(保安管理規定の届出、電気主任技術者の選任)を遵守すること。
- ③ 中型移動電源車の貸与を申請する場合であって、緊急自動車※として運用することを希望する者は、その旨を備考欄に記載の上、緊急走行の訓練及び経験を確認できる資料を添えて申請すること。
- ※公安委員会から緊急自動車の指定を受けた車両が、緊急用務のため運転中のものを緊急自動車といい、中型移動電源車は災害の応急復旧のための緊急用務であれば、緊急自動車として他の交通車両に優先して道路を通行することが可能。

d. 災害救助法に基づく様式

1. 被害状況報告(県様式1)

被害状况報告

県様式1

① 災害発生の日時及び場所

市(区)町名 加古郡播磨町

② 災害の原因

(1)被害状况(平成 年 月 日現在)

	人的	被害								住	家の被	害						
死	行	乡	傷			棟数						1	世帯数別	及び人	Į			
者	方不明	重傷	軽傷	全壊全焼又は流出	半壊又は半焼	一部破損	床上浸水	床下浸水	会場ご炒入り設と	全要全尭又は布出		半妻又よ	音板力		戸 発 フ	末上浸水	ラシス	末ド支水
									世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員

- ・人的被害状況の詳細 → (報告項目例) 年齢、性別、被災状況、対応状況
- ・住家被害状況の詳細 → (報告項目例) 住所、被災状況、対応状況等
- (2) 避難状況 (避難所別の避難者数)

避難場所	避難者	の累計	現在の避	難者数
	世帯	人	世帯	人
		~		
○ NV共体化ニュ をかたずい2日(左かり)。	17 米がさい子 「6/2」	-224 EU/		
3) 避難指示・勧告状況(有の場合は具体的に記 1. 避難指示 無・有 指示時刻【			対象: 世帯	

2. 遊難勧告 無・有 勧告時刻【

 :
 】 対象地区名:
 対象:
 世帯

 :
 】 対象地区名:
 対象:
 世帯

 :
 】 対象地区名:
 対象:
 世帯

 勧告時刻【 勧告時刻【

④その他(特記事項=集落の孤立、断水状況等生活支援の必要な事案などを記入)

										L	213193	
	災害	Š	発生	•	中	間	情	報				
市町村名	加古郡播磨町	法法	適用状	1	未通	囿用						
報告者			況	2			年		月	日適用		
原因もしくは	· :災害名											
	<i>F</i>	,			-							
発生日時	年 月 F 時 ヶ	∃ }	発生地	易所								
既にとった救助	」 かの措置及びとろうとする措	-		救則	山の	種类	頁			実施状	 況	
			避難	Ē	·····································	の	措	置	延	900		J
			応急	反影	让住	宅	の設	置				F
			炊き出	しそ	の 他	也食	品の信	共与	延			J
			飲料	. 7	k	の	供	給	延			J
			被服寝具	その	他生	活必	需品の	給与	延		世	帯
			医					療	延			J
			助					産	延			J
			救					出	延			J
			住宅	の	応	急	修	理	延		世	帯
			1000 00000	5	11	の	給	与	延)
			埋					葬	延)
				本 ·	の		捜	索	延			ر -
			Tables 1	本 .	<u>の</u>	_	処	理	延			<u>ر</u>
7.0.11			障害	7	勿	0)	除	去	延		世	帯
その他												

- (注) 1 様式最上欄の、「発生」、「中間」のうち該当する情報提供名に〇印をつけること。
 - 2 「法適用状況」欄の該当する項目に〇印をつけ、適用済の場合には適用年月日を記入すること。
 - 3 被害状況については、様式1を添付すること(詳細不明の場合等はその旨を「その他」欄に記載)。
 - 4 救助の見込みは、「既にとった救助の措置及びとろうとする措置」欄にその旨記載すること。
 - 5 中間情報は、「災害救助費概算額調」を添付すること(詳細不明の場合等はその旨を「その他」欄に記載)。

3. 災害救助法適用要請文書(町→県)(県様式3)

県様式3

文 書 番 号 年 月 日

兵庫県知事様

播磨町長

災害救助法の適用について (依頼)

<災害名>により、下記のとおり多大な被害が発生しましたので、災害救助法(昭和 2 2 年法律第 1 1 8 号)の適用を要請します。

記

1 被害の状況

(年 月 日 時 分現在)

人	.的被害(人)	ĺ			住家被	害 (世帯)		
死者	行方不明	負傷者	全壊等 (ア)	半壊等 (イ)	床上浸水 (ウ)	床下浸水	一部損壊	滅失世帯数 (注)

- (注)滅失世帯数は、次の算式で算出したもの。「 $Y+ d \times 1/2 + d \times 1/3$ 」
- 2 今までにとった措置
- 3 今後とるべき措置
- 4 その他の事項
- (1) 県への援助要望
- (2) 事務担当者連絡先

部課室名 担当 担当者名

電話 電話番号

(3) その他

救助実施記録日計表

救助の種類	避 修理 障 被服	炊 学 応 助産	水 死捜 医	救出 死処 埋葬	市町名 責任 地区責	者氏	40.00	磨町	印
No.				年	月	H	時	分	

員数(世帯)	
品目(数量·金額)	
受 入 先	
支 出 先	
場	
方 法	
記 事	

記入要領

- 1 各救助の種類ごとに一葉作成する。
- 2 記録票欄外のナンバー欄には、記録票作成ごとに一連番号を附するものとし、報告内容を訂正する必要が生じた場合、例えばNo.10の次にNo.5の分を訂正する場合には、「No.11 (No.5 訂正)」のように記載のうえ、No.5の記録票には朱で×印を附し「(No.11 に訂正済)」とし、廃棄することなくそのままナンバー順に綴っておくこと。なお、救助の実施種類が多い場合には、救助の種類ごとに一連番号を附し、ナンバー順に綴ってよい。
- 3 記入票欄外の救助の種類別欄の該当の救助名は○で囲み、欄内該当欄に必要最少限度 の事項を記入する。
- 4 機械、器具等を無償で借上げた場合についても記録票を作成する。
- 5 被服寝具その他生活必需品の給与等で、県調達分と市町調達分がある時は、それぞれ 別に記録票を作成する。

災害救助費概算額調

県様式7

						木水八	
種 目	別区分	員 数	ζ	単 価(円)	金 額(円)	備	考
	既 存 建	物	延人				
)	野 外 仮	設	延人				
避難所設置費	天 幕 借	上	延人				
	計		延人				
	建設型仮設住	宇	戸				
応 急 仮 設		-	戸				
住宅設置費	計		戸				
	<u> "'</u> のよる食品給与	费	 延人				
飲料水		<u>ス</u> 費	延人				
			世帯				
被服、寝具その	全 壊 (焼) 流 半壊(燃)・床上浸	7k	世帯				
(貸)与費		/K					
	āl		世帯				
医療及び中卒書		1	延人				
医療及び助産費		費	延人				
w = 1- 1: 1	計	#L					
	った者の救出	+	人				
	住宅の応急修理		世帯				
生業に必要	な資金の貸与		世帯				
	小学校教科		人				
	児 童 文房具		人				
	中学校教科		人				
学用品の給与費	生徒文房具		人				
	高等学校 教 科	書	人				
	等生徒文房具	等	人				
	計		人				
	大	시	体				
埋 葬 費	小	人	体				
	計		体				
死 体 の	捜索	費	体				
	洗 浄 、消 毒	等	体				
T # A M W #	一 時 保	存	体				
死体の処置費	検	案	体				
	計		体				
障 害物	の除去	費	世帯				
輸		費					
	 員 等 雇 上	費	_				
実費		費	_				
扶	助	金					
損 失		費					
法 第 19		償					
救 助	事務	費					
合		計					
Н		н					

6. 特別基準設定申請書(県様式8)

県様式8

文 書 番 号 年 月 日

兵庫県知事 様

播磨町長

<災害名>災害救助にかかる特別基準の設定申請について

さきの<災害名>による救助について、災害救助法に定める一般基準では救助の適切な 実施が困難であるため、別紙のとおり特別基準の設定を申請します。

45 Bb の 46米百		般基準	特	別基準	特別基準
救助の種類	期間	基準額	期間	基準額	設定理由
避難所の設置	7日 (~10/ 26)	320円/日・人	(例) 20日 (~11/ 8)	(例) 456円/日・人	
応急仮設住 宅の供与	20日 (~11/ 8)		(例) 35 日 (~11/ 23)		

救助の種類ごとに、「期間」「基準額」のいずれか(あるいは両方)で特別基準を設定する 場合に記載すること。

救助の種目別物資受払状況

県様式15

加古郡播磨町

市(区)町名

備考							
残							
扣							
EĮΧ							
摘要							
単位 呼称							
品名							
年月日							
救助の種目別							

(注)1 「救助の種別」欄には、「避難所用」、「炊出しその他による食品供与用」、「給水用機械器具燃料浄水用薬品資材」、「被服・寝具等」、「医薬品衛生材料」、 「被災者救出用機械器具燃料」、「燃料及び消耗品」の別を記入すること。 2 「摘要」欄に購入又は受入先及び払出先を記入すること 3 「備考」欄に購入単価及び購入金額を記入すること 4 各救助の種目別最終行欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにすること。

なお、物資等において、都道府県よりの受入分及び市町村調達分がある場合には、それぞれの別に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。 教護班による場合には、教護班ごとに教護業務従事期間中における品目ごとの使用状況を記入すること。 なお、「備考」欄に払高数量(使用数量)に対する金額を記入すること。

8. 避難所設置及び供与状況 (県様式 16)

遊難所設置及び供与状況

県様式16

加古郡播磨町 市(区)町名

2.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4	旧集	日日中で売り日	00 (#	27. J. C.	物品使用状况	状況	· · · · ·	布
はまたこともか	生力リ		II, K	I	品	数量	‰ ∃ X K	
		平成年月日~平成年月日	\ \	Y			Æ	
		平成 年 月 日~平成 年 月 日	Υ	Υ			Œ	
		平成年月日~平成年月日	Υ	Υ			Œ	
		平成 年 月 日~平成 年 月 日	Y	Υ			Œ	
		平成年月日~平成年月日	\ \	Y			Æ	
		平成 年 月 日~平成 年 月 日	Y	Υ			Œ	
		平成 年 月 日~平成 年 月 日	Y	Υ			Œ	
		平成 年 月 日~平成 年 月 日	Y	Υ			Æ	
		平成 年 月 日~平成 年 月 日	人	Y			E	
		平成 年 月 日~平成 年 月 日	十	Y			Œ	
		平成 年 月 日~平成 年 月 日	人	Y			E	
		平成 年 月 日~平成 年 月 日	十	\forall			Œ	
+			~	\prec			E	

⁽注)1「種別」欄よ、既存建物、野外仮設、天幕の別に記入すること。 2 物品の使用状況は、開設期間中に使用した品目別、使用数量を記入すること。 3 他市町の住民を収容したと含は、その住所、氏名及び収容期間を「備考」欄に記入すること。

麙 10 14 生 設 仮 岅 仑

加古郡播磨町

市(区)町名

備考															
実支出額	Ш	田	£	£	£	£	£	£	£	£	E	£	£	臣	£
入居 月日							3								
竣工 月日															
着工 月日															
敷地 区分															
面積															\angle
構造 区分															
所在地															
家族数	Υ	Y	~	~	Y	~	Y	Y	~	~	Υ	~	~	~	
世帯主 氏 名															崇
応急仮設 住宅番号															抽

(注)1「応急仮設住宅番号」欄は、応急仮設住宅に付した番号とし、設置個所を明らかにした簡単な図面を作成し添付すること。
 2 「家族数」欄は、入居時における世帯主を含めての人員数を記入すること。
 3 「所在地」欄は、応急仮設住宅を建設したところの住所を記入すること。
 4 「構造区分」欄は、本造住宅、プレハブ住宅の別を記入すること。
 5 「敷地区分」欄は、公私有別とし、有無償の別を記入すること。
 6 「機力」欄には、公和有別とし、有無償の別をも明らかにすること。
 6 「備身」欄には、入居後における経過を明らかにしておくこと。

炊き出し給与状況 市(区)町名 加古郡播磨町

半	Ē													
事本光鎔	照 ヨ く K	Æ	Æ	Æ	Æ	Æ	Æ	Æ	Æ	Æ	Æ	Æ	Æ	
4	ā II													
ш	8													
H	闽													
	巔													
_	8													
田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	图													
	踔													
	8													
田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	闽													
	蕇													
炊き出し	場の名称													塩

(注) 「備考」欄は、給食内容を記入すること。

飲料水の供給簿

加古郡播磨町

市(区)町名

	備考													
	実支出額		Э	H	H	H	Н	H	H	H	Э	Э	H	H
	無	於貞貞	E	E	Æ	E	Ш	Н	Н	H	E	E	E	H
	4050	故障の概 要												
	修籍	修繕費	E	Æ	Æ	E	H	Н	H	H	E	E	E	H
械器 真	争	修繕月日												
水用機	***	金額	E	Æ	Æ	£		Ш	H	H	E	E	E	Н
絩	借り上げ	所有者												
		数量												
	4	ሴ \$												//
	対象人員		イ	~	~	Y	Y	Y	丫	丫	Y	~	~	
	供給月日													埕

(注)1 給水用機械、器具は、借上費の有償、無償の別を問わず作成するものとし、有償による場合のみ、「金額」欄に額を記入すること。2 「故障の概要」欄には、修理の原因及び主な修理箇所を記入すること。

						***								200	D 0		
県様式20			ニ ん														
	加古郡播磨町	₩ == +	米人日銀	E	Æ	Æ	Æ	E	E	Æ	E	H	Æ	Æ	E		品
	市(区)町名																
		谷	なべ														四格
兴		与の品															給与責任者
与		資器	作業衣														
6 然		犁	毛布														
資			ふとん														
杨		\$ 11 12	はよった													とに相違ありません。	
		基礎となった	世帯構成人員	Υ	Υ	Υ	Υ	人	人	十	Υ	人	Υ			チレたことに相造 日	
		##	田名											半 中	半 中	災害救助費として上記のとおり給与したこ 年 月 日	:
		住家被害	程度区分											全壊	半糠	災害救助費とし 年	

D-55

(注)1 住家の被害程度に、全壌(焼)、流失又は半壌(焼)、床上浸水の別を記入すること。 2 受領年月日に、その世帯に対して最後に供与された物資の受領年月日を記入すること。 3 「物資給与の品名」欄に、数量を記入すること。

県様式21 印	備考														
	修繕費	Н	Н	H	Э	Э	H	E	Н	Э	H	E	E	Э	E
况 救護班名 班長 医師	死体検案数	Υ	Υ	Υ	Υ	Υ	丫	丫	Υ	Υ	Υ	Υ	Υ	Υ	~
救 護 班 活 動 状	措置の概要														
	患者数	Υ	Υ	Υ	Υ	Υ	丫	丫	Υ	Υ	丫	丫	丫	Υ	Y
	市(区)町名														//
	月 日														#

(注)「備考」の欄に班の編成、活動期間を記入すること。

病院診療所医療実施状況

加古郡播磨町

市(区)町名

							50								
備老															
金額		Æ	E	E	Æ	Æ	E	£	Æ	£	Æ	Æ	Æ	Æ	E
診療報酬点数	通院	40(ゼ	屯	ゼ	ゼ	屯	41[机	屯	屯	ゼ	4 €	垣	40(
診療報	入院	岸	型	恒	屯	型	恒	恒	山	型	型	型	恒	型	400
区区	通院														
診療区分	入院 通院														
旅															
診療期間															
患者氏名	!														~
診療	機関名														r 機関

(注) 「診療区分」には該当欄に0印を記入すること。

県様式23	加古郡播磨町	備考														
	市(区)町名 加古郡	金額	E	E	E	E	Æ	Æ	E	Æ	E	E	£	E	E	E
	1	計	В В	В В	В В	В В	В В	В В	В В	В В	В В	В В	В В	В В	В В	
鬡		分べん期間	~ ⊞	~ □	~ 🖽	~ □	~ ⊞	~ □	~ □	~ 🖽	~ □	~ 🖽	~ ⊞	~ □	∼	
40			H H	H	H H	H H	Н Н	H H	H	H H	H	В	В	H H	H H	機関
助産		助 産機関名														4
		分べん 日 時														
		分べん者氏														나 가

墲 蠍 記 駡 状 丑 救 भ 裟 被

加古郡播磨町

市(区)町名

200														
	備考													
	実支出額		Æ	E	Æ	Æ	Æ	Æ	Æ	Æ	E	Æ	Æ	Æ
	# 54	燃料負	E	Æ	Æ	E	H	Ш	£	Ы	Ы	E	H	Æ
		修繕の概要												
≕	修繕費	修繕費	Æ	Æ	Æ	Æ	Æ	Æ	Æ	Æ	Æ	Æ	Æ	Æ
用機械器		修繕月日												
校田		金額	£	E	Æ	£	E	E	Æ	Н	Н	Æ	£	E
	借上費	所有者(管理 者)氏名												/
		数量												
	1 1	名												
	救出人員		~	~	~	~	~	~	~	~	Y	~	~	~
	年月日													丰

(注)1 他市町村におよんだ場合には、備考欄にその市町を記入すること。 2 借上費については、有償無償を問わず記入するものとし、有償による場合にのみ、その借上費を「金額」欄に記入すること。 3 「修繕の概要」欄には、故障の原因及び主な故障箇所を記入すること。

県様式25	磨町 一	備寿														
	市(区)町名 加古郡播磨町	実支出額	E	E	E	Ħ	H	E	H	E	Æ	E	H	H	Æ	Æ
理記録簿		完了月日														
住宅応急修理記録簿		修 理 箇 所 概 要														
		世帯主氏名														# 申 -

贏 県様式26 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 東大出額 加古郡播磨町 その他学用品 市(区)町名 ţ 給与品の内訳 沢 ∺ 算数 4 쌺 給与月日 8 ᇜ Щ 孙 親権者 氏 名 \prec \prec \prec 児童(生徒) 氏 州 可等学校 业校名 小小校 中小校

学用品を上記のとおり給与したことに相違ありません。 年 月 日

盂

祌

(注)1「給与月日J欄コ去、その児童(生徒)に対して最後に給与した給与月日を記入すること。 2「給与品の内部J欄コ去 数量を記入すること。

굡

給与責任者(学校長)

豪

40

鞣

悝

	備考		5		93	3	*				5		2	3
一番														
加古郡播磨町		盐	E	Œ	Œ	Œ	E	E	E	E	E	E	E	E
市(区)町名	費	骨箱	E	H	Œ	E	E	H	H	E	E	H	H	E
-,	埋葬費	埋葬 又は 火葬料	Œ	Œ	Œ	E	Œ	Œ	E	Æ	E	E	Œ	Æ
		棺 (付属品を 含む)	E	E	E	Æ	E	E	Ħ	E	E	E	E	E
	埋葬を行った者	氏 名											,	
	車	死亡者 との 関係												
		年 齢												
	死亡者	氏名												-
	#	年 発 年月日												
	ł	% L 年月日												描

(注)1 埋葬を行った者が町長であるときは、遺族の氏名を「備寿」欄に記入すること。2 町長が棺、骨箱等を現物で給与したときは、その旨「備寿」欄に明らかにすること。3 埋葬を行った者に埋葬費を支給したときは、その旨及び金額を「備寿」欄に記入すること。

		#	Ĺ							
528		#	Œ							
県様式28		おり	— 第 「	E						
	加古郡播磨町	2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	Ϋ́ X							
	古郡			E						
	3. 3.	4	¥ K							
) 町名	(本 の	 	E						
	市(区)町名	光 本	<u>*</u>							
	1-1	唐 王 正 正	愛	田						
			20.700							
		 東 	数 础							
禹		****	卷							\vdash
4 0										/
Åπ		茶の	着の楽							Щ
Щ		¥	死亡者 との品 関係							
闷			各							
										/
存		相	五							
死			44							
150		Η								
		引の形	刑							\square
			E							
		見。	11/19/2017							/
		米で	時場							\vdash
		及								
		本								/
		理日田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	ш							Щ
		町	ш							
			田							盂
		以	サ							
			स			<u> </u>				ш

県様式29 田 田 田 田 田 田 田 E E 田 田 加古郡播磨町 横器 原有者(管理者) 氏 市(区)町名 徽 記 機 数 误 Щ 状 洲 獙 核 捜 名 # 祩 死 死 洲 X 厾 Ш 盂 田 井

П		析															
正30		乖	2						4								
県様式30		き要						*	i.								1
Ш		~														- 1	
		る藍															
		to															
	番 磨町	6															
п	古郡村	裍															
兴	中	こ														1	
状	市(区)町名 加古郡播磨町	₩															
6	₩ (A	除状															
114		出	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	Œ	Œ	Œ	E
₩		英															
쌆		M K															
極		니ᄪ		,)	,))	,	,	,	,	,	,	,		1
56.		羅	<u>ш</u> ш	шш	<u>ш</u> ш	ш ш	ш	<u>ш</u> ш	ள் ப	ш	ш	ш ш	шш	ள் ப	~ □		$ \ $
		また	月月	田田	用用	月月	用用	月月	貝貝	月月	月月	月月	用田	月月	田田		
豐		د ا	年年	年年	年年	中 年	年 年	サ サ	年年	年年	年年	サ サ	サ サ	サ サ	年年		
		後敗			25/ 222							300 000	10. 01		84 355		/
		名														半中	非
																7	7
		出															
		字量														(主)	¥
		溪 英														半壊(焼)	床上浸水
		住程														# #	

		_															
			析														
£31			튶														
県様式31				田	田	Æ	E	田	田	田	田	田	Œ	田	Æ		
	奉		実支出額														
ш	加古郡播磨町	_	- 単		田田	田田	E	E	E	H	E	E	E	E	E	田田	
	扣 무		菜			_	п.	П		Ь	п	Ъ	п	Ъ	п.	п	
	ш		鰲														
	市(区)町名		6#	¥													
	<u>区</u>		故 顧	ĸ													/
	ΙΞΙ	╽┠	长		Æ	田	Æ	E	E	田	田	田	Æ	田	Æ	Æ	
		舞	紲														
		₩÷	極														
														8			
瘚			Щ														
			雑														
磷		⑳	極														
4121			压	有名													
ш			 	形氏													/
記			콴	称号													
		Н	超	名海	E	田	E	E	E	H	E	Œ	田田	E	E	E	\angle
送		貅	1441			ш.	ш.	ш.	ш.	ш.	ш.	ш	ш	ш.	ш.	ш	
讏		ᅦᅦ	- 本	数													\vdash
		6	恒	類													
		ሞ	使用車両等	種業													
		Н	== (,				
			区離														/
			法正														/
		\vdash	名 禮 ^														
																	/
		ш															
			月日														
			送														苮
			讏														

⁽注)1 「目的」欄は、主たる目的(又は救助の種類名)を記入すること。 2 都道府県又は市町の車両等による場合は、「備考」欄に車両番号を記入すること。 3 借上車両等による場合は、有償、無償を問わず記入すること。 4 借上等の「金額」欄には、運送費又は車両等の借上費を記入すること。 5 「故障の概要」欄には、故障の原因及び故障箇所を記入すること。

給与額 県様式32 割増賃金時間 金額 加古郡播磨町

 基本賃金

 日数
 金額

 市(区)町名 Ш 羸 Ш 40 4 П 日子 围 릷 П 攤 彻 Ш 賃 日額 氏名 住所

(注)1 本台帳は、救助の種別ごとに作成すること 2 各日別就労状況は、1日就労したものは「1」と表示する。また、時間外に5時間就労したものは「1.5」と表示すること。

加古郡播磨町

市(区)町名

生業資金貸付台帳

# #	電ん								
一、 田、部々 丁・	員子並翎(円)								
1 4 日 日 日	貝子朔间								//
明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明	争耒訂쁴憱安								
	職業								
保証人	氏名							3	
	住所								
ナた者	氏名								神中 は
貸付を受けた者	住所								

(注)1「貸与期間」欄は、「 年 月 日まで 年 月間」を記入すること2「備考」欄は、償還状況等のてん末を明らかにしておくこと

D-68

金

円

災害救助費繰替支弁金請求書

県様式33

ただし、年	月 日	発生した		る災害救助	<u>操替支弁金</u>			Г
種目別口	≅分		実支出額	<u> </u>	算定	基準による算	定額	備考
		員数	単価	金額	員数	単価	金額	
1 救助費								
(1)収容施設供与	費							
避難所設置費		延人			延人			
応急仮設住宅設	置費	戸			戸			
(2)炊き出しその他 給与費	也のよる食品	延人			延人			
(3)飲料水供給費		延人			延人			
(4)被服、寝具その 品の(貸)与費		世帯			世帯			
(5)医療及び助産	 費	延人			延人			
	医療費	延人			延人			
	助産費	延人			延人			
(6)被災者の救出	 費	人			人			
(7)住宅の応急修	理費	世帯			世帯			
(8)生業資金の貸		世帯			世帯			
(9)学用品の給与	 費	人			人			
小学校児童	教科書	人			人			
	文房具等	人			人			
中学校生徒	教科書	人			人			
	文房具等	人			人			
高等学校等生徒	教科書	人			人			
	文房具等	人			人			
(10)埋葬費		体			体			
	大人	体			体			
	小 人	体			体			
(11)死体の捜索領	 专	体			体			
(12)死体の処置資		体			体			
(13)障害物の除る	<u></u> 去費	世帯			世帯			
(14)輸送費								
(15)賃金職員等原	星上費							
2 実費弁償費								
3 事 務 費								
合	 計							

上記のとおり請求する。 年 月 日 兵庫県知事 様

市町長

ΕD

- 注 1 繰替支弁金請求書は、算定合計額を掲げること。

 - 2 内訳の欄は、該当する種目だけ掲げること。 3 この請求書には、実施した救助の種類に応じて作成した災害救助に関する手続き等を定める規則別表第3に掲
 - げる書類及び支払い証拠書類の写しを添付すること。 4 算定基準による算定額欄の金額は、災害救助に関する手続き等を定める規則別表第1に定めるところにより算定
 - した額とし、その額は、常に実支出額欄の金額以下の額となるものであること。 5 教助の程度、方法をが期間について特別基準が認められた場合は、当該特別基準の内容が算定基準による 算定額となるものであること。

e. 避難所運営に関する様式

1. 避難情報の発令及び警戒区域の設定状況一覧

避難先・ 今後 の見通し等 避難の理由 日分日分 日分 日分日分日分 日分日分 設定した日時 警戒区域の設定 月時 月時 円世 月世 月時 月世 貝世 月 性 月時 月增 避難情報の発令及び警戒区域の設定状況一覧 有·無 有·無 兼 # **事** 黨 祟 無 祟 無 す・ 中 有 一 神 有 争 手 日分 日分 日分 日分 日分 日分 日分 日分 勧告・指示した日時 避難勧告又は指示 旦 性 月時月時月時 月時 月時 月時 月時 月時 月時 勧告・指示 自主避難 勧告・指示 自主避難 勧告・指示 自主避難 勧告・指示 自主避難 勧告・指示 自主避難 勧告・指示 自主避難 勧告・指示 勧告・指示 勧告,指示 勧告•指示 自主避難 自主避難 自主避難 自主避難 避難人数 分現在) 避難世帯数 避難の状況 些 ш 避難した日時 H 年 自治会

避難所開設・閉鎖状況一覧

		_					ilina	**	<								
	^	农	分)	^		、者		,	S	m .=	1	
		业 .	盐				(松人	障がい者	乳児	外国人	4 16.3	かの名	,	
		ш	ш									在	8 ic	142			
		田	H))(<u> </u>								
) 近	松	鎖	台	H H		責任者氏名			¥¥	子供	抽	大人	子供	枯	+	
	避難所		N N	要	梅	FAX	責任。)	J	#	L 形 田	¥.		中年女	₽	合計	
	,						11111111	_	<								
	<u> </u>	农	分								ut						
		· 拉	曲				((^	老人	障がい者	乳児	外国人		かの名	<u>l</u>	
		ш	ш									左	er	140	1		
		月)) () (
	~		月				氏名			X X	子供	+	¥Υ	子供	市		
	遊難所		別鎖	番号	番 号	FAX	責任者氏名			-1-1	出	×		其 女		合	
				-14-	100		11111		<u> </u>	_	-Jr %	. PA			4-		
	0	农	分				ıjna.	_	<u> </u>								
111			由)	(^	~	障がい者	新児	外国人	74.9/	かの名	1	
分現在		-	-							老人	塾		ので		K 4-	į	
		ш	ш)	<u> </u>								
由	J	町	H				名((~	并		2	当			
ш	避難所	粒:	嶽	户	ПD	Х	責任者氏			X	男 子供	市	X	女开	市	合計	
	製	噩	屋	梅	桕	FAX	責	$\overline{}$	\smile		主制	E教		#	山柜	VΠ	
H		C .		U=	F~	到											
种		避難所の問題には	湘沼口味	電話	無線	その他		担当者					収容状況				羅
				測	絡手	銰											

3. 避難所の状況確認報告書 (現場用)

避難所の状況確認報告書(現場用)

報告日時	年	月	日 ()	午前・午後	時	分
学校名	i i	小・中学校	芝 彝	告者氏	名		
緊急連絡先	TEL	無為	浪 連	絡先氏	名		

◎報告事項

●避難所開設区域

開放区域名	使用可能状況	特記事項(主な被害状況等)
体育館	1 可 · 2 不同	Г
普通教室	1 可 · 2 不同	r
会議室	1 可 · 2 不同	ſ

☆会議室は避難所運営のための事務所として利用する。

●避難所に係る設備

設備名	使用可能状	況	特記事項(主な被害状況等)
トイレ	1 可・	2 不可	
水道	1 可・	2 不可	
電気	1 可・	2 不可	
ガス	1 可・	2 不可	
電話	1 可・	2 不可	
FAX	1 可・	2 不可	
放送設備	1 可・	2 不可	

●避難者の状況

現在の避難者	1	有	(名)	•	2	無	
現住の避難有	特記事項()

報告先	災害対策本部事務局	T E L 079–435–0355
		F A X 079-435-3398

4. 避難者名簿兼入所届

氏名一文字目:	
自治会区域名:	

避難者 → 名簿管理部 【避難所名: 】 登録番号

【避難者の方へ】

- ・この名簿を提出することでこの避難所の避難者として登録され、生活支援が受けられるようになります。
- ・この名簿の内容に変更が発生した場合は、速やかに申し出てください。
- ・この名簿に記載した情報は、避難所運営と生活支援に関すること以外の目的には使用しません。

避 難 者 名 簿 (兼 避 難 所 入 所 届)

入市	斤年月日		年	月	B									
	あなたの世	帯全員を記	入してく	ださい。	,	10 E 0		167		(5)		v		
	氏名(ふ	りがな)	性別	生年		避難状況	血液型		助等要否	傷有		障害有		国
	世帯主							要	・否			X		8
								要	・否					
								要	・否					
								要	・否					
	i							要	・否					
2000								要	・否					
1	住 所						電話番	号						
	自治会区域						自家用	#	車種	(色)	į.			
	ペット	種類		数			日本用	4	ナン	-1				
	障害の有	アレルギー 無欄…該当 ②視覚 ③	する番号	きを記載	してく	ださい。				и. 🕾	采加	→ (§	シてり)TE
2	【特別な配	慮が必要な	事項(7	アレルギー	一等);	があれば	『記載して	<	ださい	1				
3	【所有する	技能・資格	等があれ	にばその	内容と	保有する	人の氏名	を	記載し	てくけ	ださ	[י]		
	自宅の	居住のす	可否	住める	・住	めない	d.							
4	状 況	被害のも	大況	全壊 ・ 断水 ・			一部損壊 ガス停止			浸水		床	下浸	水
_	緊急連絡先	住所												
5	(親戚等)	氏名					電話							
6	個人情報の取り扱い	問合せん	の回答	可	* 3	不可	インタ		ネット	でのな	公開	D	Ι.	不可

	7										É	ì	Ħ	記	,	犮木	闌									
ļ.		 	 																					 	 	
ļ.		 							 																	
.		 							 																	
 - 		 							 																	
ļ.,		 	 	 	 																			 	 	
ļ. 		 							 																	
 - 		 							 																	
 - 		 							 																	
ļ.,		 							 																	

四出职出權款					
世紀に受ける			退所年月日		既登録番号
※以下は、退所する方についてのみ記入してください。	のみ記入し	、てください。			
フリガナ	性別	生年月日	退所後住所		退所後連絡先(電話番号)
氏名		M T S H 年	uL.		
	ις • •	Ħ			
フリガナ	性別	生年月日	退所後住所		退所後連絡先(電話番号)
氏名		M T S H 年	uL		
	形 • 文	Ħ			
フリガナ	性別	生年月日	退所後住所		退所後連絡先(電話番号)
氏名		本 H S T M	uL.		
	ις Υ	Ħ			
フリガナ	性別	生年月日	退所後住所		退所後連絡先(電話番号)
氏名		事 HSLW	ш		
	形 ・ 文	Ħ			
フリガナ	性別	生年月日	退所後住所		退所後連絡先(電話番号)
氏名		事 HSLW	ш		
	形 • 文	Ħ			
特記事項					
				事務処理欄(記載しないでください) 入所時(提出時)チェック □ 記載内容点検 整理時チェック □ データ入力 □ 避難者名簿の該当者見え消し 特記事項	いで〈ださい) ニック : : 該当者見え消し

6. 避難所状況管理表 (医療救護活動用調査票)

避難所状況管理表(医療救護活動用調査票)

NH-44/		INVICE	L34 ((111 393)	八五年	,		
避難所・救護所名	1			7		Y			
記録年月日				記録	者氏名				
○外部から連絡がと	とれる連	絡先及び	車絡担	当者		**			
連絡方法									
電話番号				FAX	番号				
電子メールアドレス									
その他()								
○インフラの状況	(該当す	るものに	チェッ	ク。複数i	選択可)	1			
電気(有無及び種類	頁)	□無			発電機	送		復旧済み	
水(有無及び種類)		□無		□ 給水		□ 水道	水	口 井戸オ	C
食事(定期・不定期	期)	□無		□ 定期	(回/日)		不定期	
暖房器具 (有無)		口無				□ 有(台)	
トイレ(有無及び種	重類)	口無		常設	口仮	設 □	その位	也 ()
通信 (可能なもの)		□一般電	話□	携帯電話	□衞』	星電話 □	FAX	□PC >	レール
○避難所周辺の治安	安状況(該当する	ものに	チェック)					
□良い		□悪	化しつ	つある		□ 悪	1		
○救護活動の有無と	と方法								
口無	□	巡回		□ 常縣	È (🗆	昼間のみ		昼夜とも)	
○救護所常駐または	は巡回診	療を行って	ている	支援チーム	ム名				
支援チーム名									
支援チームの責任者	学の氏名	と職名	氏名	:	160	職	名:		
支援チームの構成人	人数	医師:		看護師:		薬剤師:		事務:	
〇避難所入所者									
現在収容人数	乳	児(1歳	未満)		妊婦		自立	歩行トイレ	不可
	名		4	4		名			名
〇受診者 (受診人数	数	名(うち避	難所外かり	うの受	診	_名)		
インフルエンザの疑い	(A)	呼吸器疫	悪		呼吸困	英能	発熱	以 (38 度以	上)
A型(名)			2	名		名			名
A型 (名) B型 (名)		下痢		П	温気・1	區吐		発疹	
日至(石)			2	名		名			名
不眠・不安		精神科疫	患	病院	への搬	送・紹介			
9	名		2	艺		名			
〇特記事項									
酸素ボンベ使用者:	名、人	工透析受療	者:	名、深部	静脈血相	・肺塞栓症	E疑診例	: 名	
てんかん症状のある方	: 名	、自動車内	で宿泊し	している人の	の有無と	推定人数:	有(推)	定 名)	無
<その他記事>					-				

避難所日誌

避難所名						
報告日時	平成	年	月	日	時	分
記入者						
責 任 者						

記	事						
連絡事	項	*時刻、受到	発信の別、受発信	者名、内容を記入	する。		
		-					
	氏	,名	到 着	退出	氏 名	到着	退出
			時 分	時 分		時 分	時 分
従事者			時 分	時 分		時 分	時 分
			時 分	時 分		時 分	時 分
			時 分	時 分		時 分	時 分

避難収容台帳

避難所名

責任者	月日	収容人員	物品使用	大 况	実支払額	備考
印	71 🗖	WE'NG	品名	数量	大人 拉脱	Co. HINI
	1	名			П	
	1	名			Н	
	1	名			Н	
	1	名			н	
	1	名			Н	
	1	名			Н	
	1	名			Н	
	1	名			Ч	
	1	名			Щ	
	1	名			Н	
	1	名			Н	
	1	名			н	
	1	名			П	
	1	名			П	
	1	名			П	

^{※1「}収容人員」欄は、当日の最高収容人員を記入し、収容人員数の増減経過は「記事」欄に記入しておくこと。 ※2「物品使用状況」欄は、開設期間中に避難所のために使用した品目別、使用数量を記入すること。 ※3 他区市町村の住民を収容した場合は、その住所、氏名及び収容期間を「備考」欄に記入すること。

D-78

避難所食料品•物品管理簿

避難所名

品	名	2.4			
月日	受	(単位: 払	□個・本□箱	□セット □ぞ 記入者	たの他()) 摘 要
/					
/					
/					
/					
1					
/					
/					
/					
/					
1					
/					
/					
/					
/					
/					

※食料品・物品毎に作成のこと。

f. 罹災証明に関する様式

1. 罹災証明書等交付申請書

罹災証明書等交付申請書

申請日 令和 年 月 日

播磨町長 様

申請者(証明対象者)	
住 所	
(ふりがな)	
氏 名	
電話番号	

下記のとおり証明書の発行を申請します。

記

		記
罹災物件 (家屋)	所在地(地 番)	
	該当する項目	持家・借家・貸家
	に○をつける	住家・非住家
罹災物件 (家屋以外)	所在地(地 番)	
	該当する項目	家財 • 外構、設備
	に○をつける	その他 ()
人身の被災状況		
地字の内容	原因	年 月 日に発生した による
被害の内容	状況	
請求部数		宛に のために 部
整理番号 (再交付 の申請の場合)		

(整理番号:)

罹災証明書

世帯主住所							
世帯主氏名							
(追加記載事項欄①)							
罹災原因		年	月	日の		による	
被災住家 [※] の 所在地							
住家 [※] の被害の 程度	□全壊	□大規模	详生壊	口半壊	□準半壊	□準半壊に至らない (一部損壊)	
(追加記載事項欄②)							
※住家とは、現実に居住(世 いる建物のこと。(被災者							
(追加記載事項欄③)							

上記のとおり、相違ないことを証明します。

年 月 日

播磨町長 清水 ひろ子

(整理番号:)

建物罹災証明書

所有者住所	
所有者氏名	
(追加記載事項欄①)	
罹災原因	年 月 日の による
被災家屋の 所在地	
家屋の被害の 程度	□全壊 □大規模半壊 □半壊 □準半壊 □準半壊に至らない (一部損壊)
家屋番号	建物用途
(追加記載事項欄②)	
(追加記載事項欄③)	

上記のとおり、相違ないことを証明します。

年 月 日

播磨町長 清水 ひろ子

(整理番号:

家財等罹災証明書

所有者住所					
所有者氏名					
(追加記載事項欄①)					
罹災原因	年	月	日の	による	
罹災物件					
物件所在地					
罹災状況					
(追加記載事項欄②)					
(追加記載事項欄③)					

上記のとおり、相違ないことを証明します。

年 月 日

播磨町長 清水 ひろ子

罹災届出証明書

罹災日時	年	月	日
罹災場所	兵庫県加古郡播	磨町	
罹災者氏名			
届出(被害)			
の内容			
本証明書を必要	とする理由		
	住所	兵	庫県加古郡播磨町
申請者	被災者との関係		
	氏 名		

第 一 号

上記のとおり、罹災の届出があったことを証明する。

年 月 日

播磨町長 〇〇 〇〇

		9	2	1/	OL	11/11	Ή	. 景	
り災場	計	播磨町							
居住		世帯主							
世帯人員	1								
	人								
電話番	异				を連	を車	の絡	他先	
The different	e tile	• 専用住宅						• 併用住宅	
建物形	態	・店舗						・その他()
所有形	/ 能	・持ち家	i di	所有名義人					
DI H ID	/ 165	・賃貸		101	1.11.	니큐	支八		
		• 全壊			· 大	、規	模半	- 半壊	
to 44 41	x 2m	• 一部損壊			・そ	のf	也 ()	ĺ
り災状	、沙丘	• 床上浸水()	cm		
		・床下浸水							
/;H:	考								
備	与								
		月	日						
調査日	時	午前・午後		調査	担当	者			

			月	日		
調	査 日	時	午前・午後		調査担当者	
			時	分		

g. その他応急対策に関する様式

1. 災害防疫終了報告書

平成 年 月 日

		災	害	防	疫	終	了	報	告	書	
									報台	与市長名	播磨町
1	災害発生年	月日		年	月]	H				
0	巛 生の原田			lect	Ę	ī					
2	災害の原因		'n	風	7,	Ī					
3	被害の概要		全壊戸 一部損	-		戸戸			床上i 床下i		戸 戸
	4 災害に関する措置の概要(1) 防疫活動状況1) 予防に関する広報										
		月月	日各				の配布	(部)	1	
	調査	査の方 機関 従事者	法	,			> ДС 117		11107		
	3) 消毒方		90								
	床上浸	水家屋 水家屋 動期間	CONTRACTOR OF CONTRACTOR						(500m)	1)を配布	した。
	-7 117-7-114	年	月	日	から		年	月	日		
	5) 消毒活	動の従			べ人数						
			日			人					
		月日	日			人					
		月 月	日日			人人					
		月	H			人人			計		人
(2	(2) その他 例) 市職員が消毒班を作り、個人家屋(10戸)の消毒を行った。										
5	5 - 威染症指定医療機関の被害状況										

- 5 感染症指定医療機関の被害状況 被害状況を記入する。
- 6 災害防疫所要額 消毒薬 円

 $\overset{\smile}{\boxminus}$

田

災害防疫調査結果一覧

									9				犻	章 章	通			
† # #		健康状態の異常		飲料水	大	便所				華浜	清潔					環境		
日子十	※ 年数	の有無(下痢、発	有证价自 內	木:水道水	順の	洗:水洗	光	浸水状況		0.000	(手洗	極級	蝕	#**	精神	(ごみ、	7.04	備考
R G	3	熱等)		井:井戸木	単	汲:汲耳	ĕ.			有無し	神派こ	勧奨	生活	217度	恒	万米、	ものも	
		有()・無		* · ×	神· 無		驳	床下・床上(cm)	神· 無	ار ف					16.7		-14
		有()・無		* · ·	有·無	- 光	汲	床下・床上(cm)	有·無								
		有()・無		* · *	有·無		汲	床下·床上(cm)	有·無								
		有()・無		米:#	有·無	· ·	汲	床下·床上(cm)	有·無								
		有()・無		* · ×	有·無	光	汲	床下・床上(cm)	有·無								
		有()・無		米: #	有·無	· ·	汲	床下・床上(cm)	有·無								
.s.		有()・無		* : *	有·無		汲	床下・床上(cm)	有·無								
		有()・無		* · ×	有·無	光	汲	床下・床上(cm)	有·無								
		有()・無		* · ×	神· 無	光	汲	床下·床上(cm)	有·無								
		有()・無		# *	有·無	光	I I	床下・床上(cm)	神· 無								
		有()・無		米 : 朱	有·無	光	汲	床下・床上(cm)	有·無		2 37						
		有()・無		* · *	神· 単・		汲	床下・床上(cm)	神· #								
		有()・無		* : *	有·無	光	汲	床下・床上(cm)	一 一 無								
		有()・無		* · *	神· #		汲	床下・床上(cm)	一 無 ・								
		有()・無		米:#	有·無	光.	汲	床下·床上(cm)	有·無								
		有()・無		* ··	有·無		汲	床下·床上(cm)	一 一 一 一								
合計(件数)	~	有()・無()																

救護所開設・閉鎖状況一覧

(本) (本) </th <th>正 月 日 板 救護所開設場所 救護所の開閉日時</th> <th>設 鐵</th> <th>分現在 月 月</th> <th></th> <th>* *</th> <th>\$\times\$</th> <th></th> <th></th> <th>田田</th> <th></th> <th>推推</th> <th>分分</th> <th> </th> <th>設 鎌</th> <th>日日</th> <th>шш</th> <th>* *</th> <th>\$ \$</th>	正 月 日 板 救護所開設場所 救護所の開閉日時	設 鐵	分現在 月 月		* *	\$\times\$			田田		推推	分分		設 鎌	日日	шш	* *	\$ \$
連絡手段	電話無無線	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						器 春 FAX					操 w FAX	中中				
85	従事者	責任者氏名 ((名()(a 4	責任者氏名 ((各()(#		責任者氏名 (()(# Y
PO	医師・看護師	医師 看護師 その他		公 名 安				医師 看護師 その他		4 4 4			医師 看護 その。	医師 看護師 その他		4 4 4		
Ť	収容人数	世 中 年 年 年 年 第 元 者 売 者 売 き 売 き き き が き き き き き き き き き き き き き	形 (((((((((((((((((((人 大 大 女 女 女		233 3		五 日 年 年 年 第 元 者 元 者 活 者 活 者 活 者 活 者 活 者 活 者 者 活 者 者 者 者	8 8 8 8 8	人 大 女 女 女 女		333 4 5 6 6 7 8 8 8 8 8	田中 理中 報 強 数 数	重症者 中等症者 軽症者 総数	888 8 8 8	人 大 女 女 女 女		222 2
-30	処置状況等																	
	58、輪、性別 負傷簡所		\cup	歳)男	· 女				<u> </u>	歳) 男	・女		\perp		()	歳) 男・	女	
	意識の有無		有		無				争		無				争		進	
者の容	呼吸の有無 脈拍		神	$\cdot $	無回/公)				柜		無回/分)				在		無回/分)	
掘	血压 wmHg)		\		$\overline{}$)		\		~				\		<u> </u>
	負傷の程度	死亡	重症		中等症	軽傷		死亡	重症	中等症		軽傷		死亡	重症	中等症		軽傷

医薬品調達配給状況(救護所用)

交人 払出 残 交人 払出 残 交人 払出 残 交人 払出 2人 払出 残 交人 払出 2人 以出 2人 以出 2人 以出 2人 以出 2人 以出 2人 2人 以出 2人 以出 2人 以出 2人 以出 2人 以出 2人 以出 3人				品名			品名			品 名			品名	
No. April April	日時	受入先												
1			没入	松出	残	受人	松田	残	受入	松田	残	没入	料出	残
	0100													
	-5,056													
	3.5													
	00000													
	0.000													